

じんるいそくかみなり 人類即神也の印

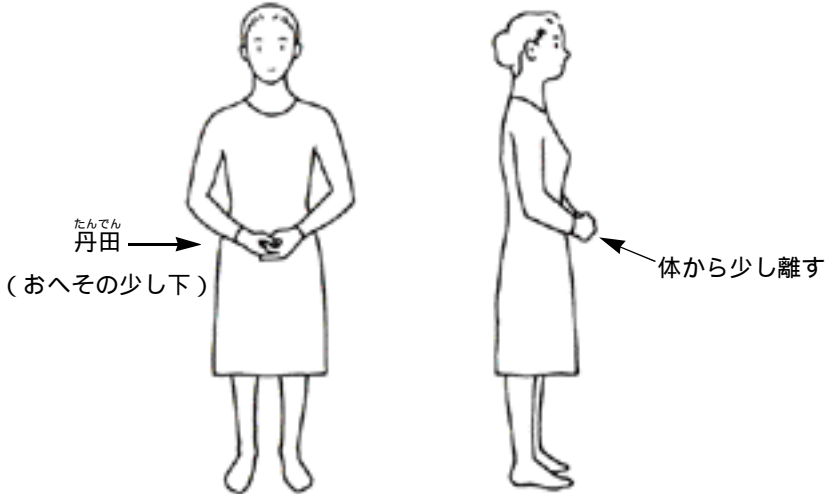
1

如来印にょらいいんを組み、「人類即神也」と宣言する

人類即神也の印は、人類のために宇宙神のエネルギーをいただいて、人類一人一人が真理（我即神也）に目覚めるその時まで、組みつづけるのである

正面

側面

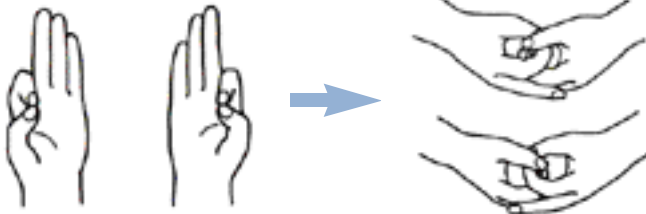


如来印の組み方

天と地、プラス^{プラス}とマイナス^{マイナス}の交流
大調和の意

親指と人差し指で輪をつくり

右手と左手の輪を結びます



手のひらは上に向ける
手のひらは左右どちらが
上になってもよい

2

如来印を丹田の位置からやや上に持ち上げ、「ウー」と言いながら、印を組み始める。両手を「上から見た拡大図」のような形にしながら、天に捧げるようにしてすくい上げ、顔の上方で止める。ひじは伸ばしきらずに少し余裕をもたせておく

発声
ウ



息

正面

側面



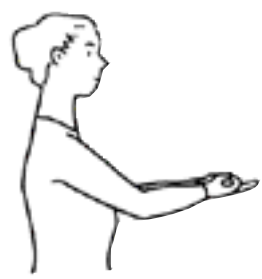
宇宙神の無限なるエネルギーをいただく



上から見た拡大図



手を上げながら自然にこの形にしてゆく



目線



3

「ウー」と言いながら、左手はそのまま、右手を左手に対して直角に立てる。このとき、右手は左手から離れないように動かす

正面

側面

発声

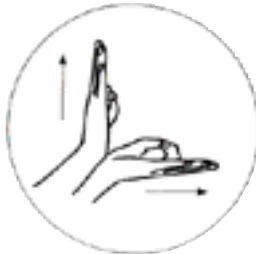
ウ



宇宙神よりいただいた無限なるエネルギーを地上に放つ



手首を支点にして右手を立てる（両手首は離れない）



指はまっすぐ伸ばす

息

4

「ジー」と言いながら、左手をそのままにして、右手で顔より少し大きめの円を描いて元へ戻る。円は、自分から見て右回り（時計回り）に描く

正面

側面

発声

ジ



人類は、本来、肉体（右手）も魂（左手）も光り輝く無限なる創造と無限なる自由をもった気高く崇高にして神々しい神そのものである

円は壁を塗るように描く

肉体（右手）



だが、地上に降り立った人類は、すべてが無限ではなく有限となってしまった。そのため、小さな円を描くが、それさえも威厳に満ち溢れた立派なものである



ン

「ンー」と言いながら、手首をつけたまま両手を回し、右手と左手の位置を入れ替える

(ん)



手を回す時に「ンー」と発声



息

左手を立てる

(注)「ジーンー」は一息で発声

5

「ルー」と言いながら、今度は右手をそのままにして、左手で顔より少し大きめの円を描いて元へ戻る。円は、自分から見て左回りに描く

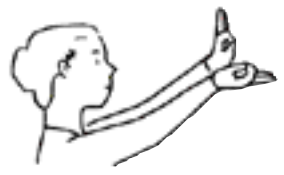
正面

側面

発声
ル



魂(左手)



イ

「イー」と言いながら、右手をそのままにして左手を右手にそろえるこのとき、左手は右手から離れないように



息

(注)「ルーイー」は一息で発声

6

「ウー」と言いながら、右手を左胸に引きつけ、次に左手を右胸に引きつけて、両手を交差させる。このとき、指先はまっすぐ天に伸ばし、手のひらはそれぞれ左右外側を向く

正面

側面

発声

ウ



天の真理はまっすぐ地に届かず、誤った想念・言葉・行為によって歪められて地に降ろされた



誤った想念・言葉 (右手)



誤った行為 (左手)

息を止める

右手、左手の順で、下方へすばやく手刀を切る
このとき、残っている息を「プッ・プッ」と吐く



人類による誤った想念・言葉・行為によって生じたあらゆる苦惱、病気、カルマを払い去る

プッ・プッ



息

7

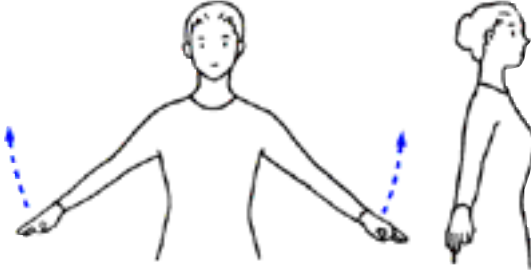
「ソー」と言いながら、手刀を切った両手を肩の高さまで上げながら前方へ持っていき、ひじを張るようにして胸の前まで引きつける。このとき、両手の中指の先端がつき、手のひらは地面に対して水平になる

正面

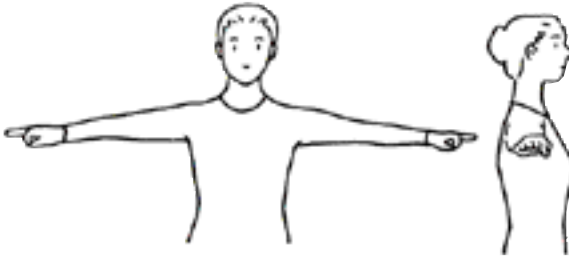
側面

発声

ソ



褪い去った誤った想念・言葉・行為の数々（苦悩、病氣、挫折、悲しみ・・・）を両手で大きく自分（我即神也である）にひきつけ、



上から



手を引きつける

次頁に続く

前頁より

正面

側面

上から



指先は胸の高さ
(みぞおちのあたり)



指はまっすぐ伸ばす

息

「クー」と言いながら、中指をつけたまま両手のひらを上に返してずっと前へ押し出し、そこで手を大きく両側に開く。次第に両手を下ろして交差させ（右手が上）、おへその前あたりで止める

正面

側面

上から

発声

ク



手のひらを上に向けかえて、前に押し出す



手のひらをずっと前に押し出してゆく

前頁より

正面

側面

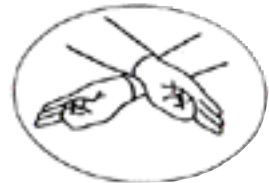
上から



ずっと前に押し出してから両手を左右に開いてゆく



両手を左右に横の方まで開く



手先の拡大図

次第に両手を下ろして交差させ、おへその前あたりで止める

息

9

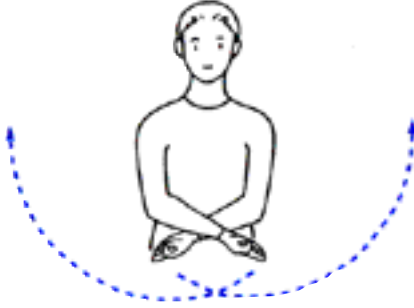
「カー」と言いながら、両手を外側から大きく回して上で交差させ（右手が手前）、そのまま回しながら下ろしていき、さらに肩の高さまで上がったところで水平に止める。手のひらの向きは、回すにつれて上向きになり、両手が交差する手前あたりから自分の方を向き、水平に止めるときは下を向く

発声

力

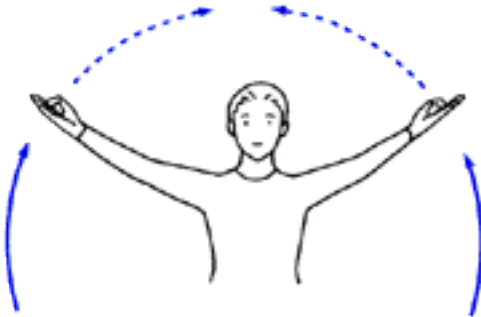
正面

側面



そして、人類一人一人は神そのものであり、無限なる生命、無限なる幸せ、無限なる歓喜そのものであり、

(大きな円) = 無限



手を上げた時の目線は斜め上



手のひらは上向き



手のひらは内向き

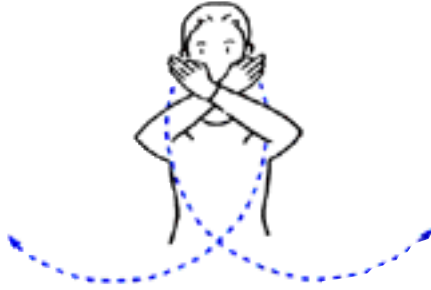
右手が手前

次頁に続く

前頁より

正面

側面



右手は左手の内側を抜ける



両手を真横に開き
指先はまっすぐに



手のひらは下向き

息

10

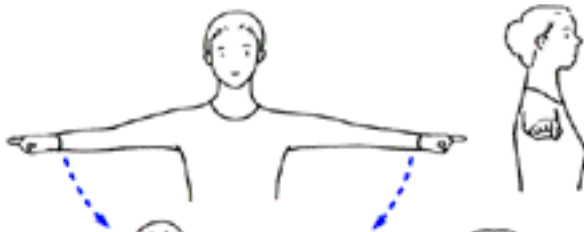
「ミー」と言いながら、水平位置の両手をそのまま自分の体の前の方へ下ろしてくる。両手が交差したら（右手が手前）手のひらを外向きに返して上へ上げ、上方外側へ大きく回していき、肩の高さで水平に止める。このとき手のひらは下を向く

発声



正面

側面



右手が手前
手のひらは内向き



下で交差した手を
上へ上げる



そして、宇宙そのものであり、真理そのものであり、無限の広がりの中に人類は在る。そこには人種、民族、宗教など、すべての対立を超え、一つである



手のひらは外向き



手のひらは下向き

両手を真横に開き
指先はまっすぐに



息

11

「ナー」と言いながら、水平位置の両手を大きく下ろしていき、その後すくうように両手を上げていき、最後は顔の前で合掌如来印を組む

発声
ナ

正面

側面



人類すべてを救いあげ、高めあげ、天にかえすと同時に宇宙神のエネルギーをいただく

天なる神に全感謝を捧げるのである（合掌）



合掌如来印

左右の親指のどちらが手前になってもよい

手のひらはなるべくつける

息

12

「リー」と言いながら、合掌を解きながら、両手を腰の位置まで下ろす

正面

側面

発声

リ



左右の輪を離す



手のひらが前から見えるように



息

13

息を止めたまま数字の 7 (ナナ) を描く

正面

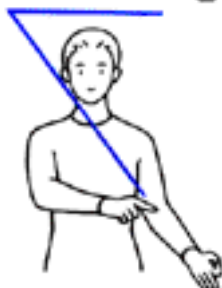
側面

無声



(ナナ)
数字の 7 を描く

7は真理、大調和、大
完成、神そのものであ
るといふ天の啓示



7ではなく欧米で使われている 7 (ナナ)

14

息を止めたまま如来印を組む



息